

佐藤純也 | 村山伸彦 | ニナ・バイエ & マリー・ルンド
Junya Sato | Nobuhiko Murayama | Nina Beier & Marie Lund

“Light Through the Window”

2017年8月26日(土) - 9月24日(日)

オープニング: 8月26日(土) 18:00 - 20:00

火曜日～土曜日 11:00 - 19:00 日曜日 12:00 - 17:00 (月、祝日 休廊)

協力: AOYAMA | MEGURO W WAKO WORKS OF ART

ハギワラプロジェクト

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-18-2-101

T / F: 03 6300 5881 E: info@hagiwaraprojects.com

www.hagiwaraprojects.com

京王新線・都営新宿線「初台」駅東口より徒歩5分／

JR「新宿」駅南口より徒歩15分／都営大江戸線「都庁前」駅より徒歩12分

前略 平素は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

この度ハギワラプロジェクトでは、8月26日(土)より、佐藤純也、村山伸彦、ニナ・バイエ&マリー・ルンドが参加するグループ展「Light Through The Window」を開催いたします。

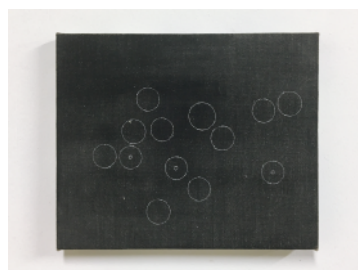
佐藤は、数年間に渡り、一日の最後に財布に残った小銭をキャンバスの上に広げて、痕跡を写し取る絵画を定期的に制作してきました。今回の展示では、これまで描かれた百枚以上の中から一部を展示空間に、一部は箱に仕舞われた状態で展示します。抽象化されたモノクロームのイメージは、金銭の流通や社会の営みといった大きな流れを想起させます。

村山は、海外の博物館に展示してある古代の彫像をモチーフにして、ものを見るという視覚的体験をどう描くかを探求します。粗い目の布の裏側から描かれた彫像の像は不鮮明でぶれていますが、網膜にやきついたイメージのようにその存在感は確固としています。イメージの奥に潜む時間の感覚を抽出した作品です。

ニナ&マリーは、2008年に発表した、ヴィンテージのポスターがフレームされた作品を展示します。ポスターは反戦を訴える内容ですが、内側に折れているため実際に見ることはできません。像が見えない状態での“イメージの知覚”について鑑賞者に問いかけます。

3組それぞれ異なったアプローチから生まれた「イメージ」は、静かに、そして豊かに人間の本能や感覚の中で広がっていきます。ぜひご覧ください。

佐藤 純也 Junya Sato



“Cash Flow 2015.2.22” 2015 acrylic and ink on canvas, 22×27.3 cm



“Cash Flow annotation” 2017

1977年宮城県生まれ。2000年多摩美術大学絵画科油画専攻修了。神奈川県在住。主な展覧会に、“Spring Fever” 駒込倉庫(2016、東京)、“After the summertime” statements(2016、東京)、“The Wanderer” Museum of Contemporary Art(2014、ブカレスト、ルーマニア)、“反戦 来るべき戦争に抗うために” SNOW Contemporary(2014、東京)、“the wanderer” moti museum(2014、ブレダ、オランダ)、“VOCA展 2011” 上野の森美術館(2011、東京)、“10” 青山 | 目黒(2010、東京)、“モンブラン ヤングアーティストパトロネージ イン ジャパン” MONTBLANC(2010、東京)、“Reflection” murata&friends(2006、ベルリン)、“百花撩乱” BOICE PLANNING(2006、神奈川県)、“あかるい絵” 青山 | 目黒(2005、東京)、“Isst du gerade meinen Tofu?” Backfabrik temporary exhibit.space(2004、ベルリン)、“MOT アニュアル Fiction?—絵画が開く世界” 東京都現代美術館(2002、東京)、“第五回昭和シェル現代美術賞展” 目黒区美術館区民ギャラリー(2000、東京)など。

村山 伸彦 Nobuhiko Murayama



"face" 2017
oil pigment cotton canvas
40x50 cm

1980年神奈川県生まれ。2003年東京芸術大学絵画科油画専攻修了。2009年近畿大学国際人文科学研究所四谷アートステュディオム修了。現在ベルリン在住。主な展覧会に、“moons” Japanisch-Deutsch Zentrum (2015、Berlin)、“blue on the ship” Gallery WangHohmann (2014、Wiesbaden)、“Physis 2014” Japanisches-Deutsch Zentrum (2014、Berlin)、“THE ECHO - spreading of light” japan foundation (2013、Cologne)、“from a distance” Atelier Uberall (2012、Berlin)、“Aus aktuellem Anlass” Neue Galerie Landshut e. V. (2011、Landshut)、“WE ARE THE ISLANDS” , Kunstraum Bethanien (2010、Berlin)、“scene” Gallery Objective Correlative (2009、東京)、“SKIP!” Gallery-Stump (2007、鎌倉)など。

◇CAPSULE(三宿、東京)にて同時開催

村山伸彦“鳥と木と目” Nobuhiko Murayama "bird, tree and eye"
2017年8月11日(金) - 9月17日(日) 土日のみ開廊 12:00 - 19:00
オープングレゼプション 2017年8月11日(金) 18:00 - 20:00
東京都世田谷区池尻 2-7-12 B1F

ニナ・バイエ Nina Beier

1975年生まれ。デンマーク出身。

マリー・ルンド Marie Lund

1976年生まれ。デンマーク出身。



"The Archives (No, Nein, Njet, Non)" 2008
Vintage peace poster, metal frame
67 x 51 cm

共にロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートを卒業し、2004年より2009年の間、共同で作品を制作。現在は個々で作家活動をしている。グループ・ダイナミクス(集団力学)や人間関係に対する関心を、ファウンドオブジェクトや既製品を使ってユーモラスに表現する。

“Nouveau Festival, curated by Bernard Blistene” Centre Pompidou (2014, Paris) , “Beyond Words, Nina Beier & Marie Lund” GAK Gesellschaft für Aktuelle Kunst (2012, Bremen) , “Under Destruction I, curated by Chris Sharp and Gianni” The Swiss Institute (2011, New York) , “The Testimony, curated by Laura Fried” Contemporary Art Museum (2010, St. Louis) , “Under Destruction, curated by Chris Sharp and Gianni Skovbjerg” Museum Tinguely, (2010, Basel) , “A Circular Play, curated by Ursula Schöndeling” Braunschweig Kunstverein (2008, Germany) など、ロンドン、ドイツを中心にヨーロッパ、アメリカで個展や様々なグループ展に参加している。